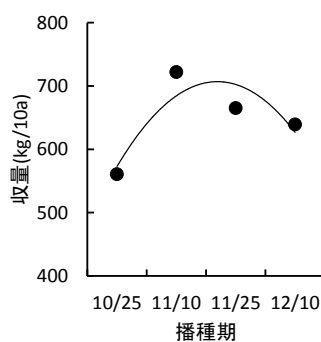


小麦「さとのそら」の栽培法

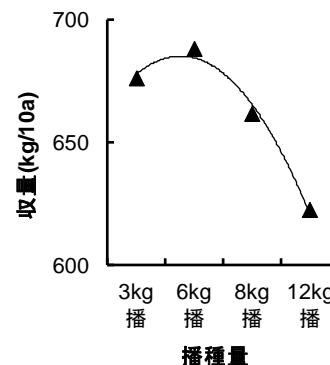
「さとのそら」は平成 25 年に「農林 61 号」に代わって小麦の主力品種となりました。そこで「さとのそら」の安定した収量及び品質を確保するための栽培方法を確立しました。播種期は 11 月 10～25 日、播種量は 5～7kg/10a、施肥は、追肥体系では基肥窒素量 6kg/10a、追肥は出穂前 15 日に窒素量で 4～6kg/10a を行います。茎立後の追肥が困難な場合は茎立期直前に 3～4kg/10a を行います。また、速効性肥料と緩効性肥料 30 日タイプ(LP30)及び 50 日タイプ(LP50)を組み合わせた一発肥料を、窒素量で 12kg/10a 程度基肥施用することで追肥体系と同等の収量・品質が得られます。



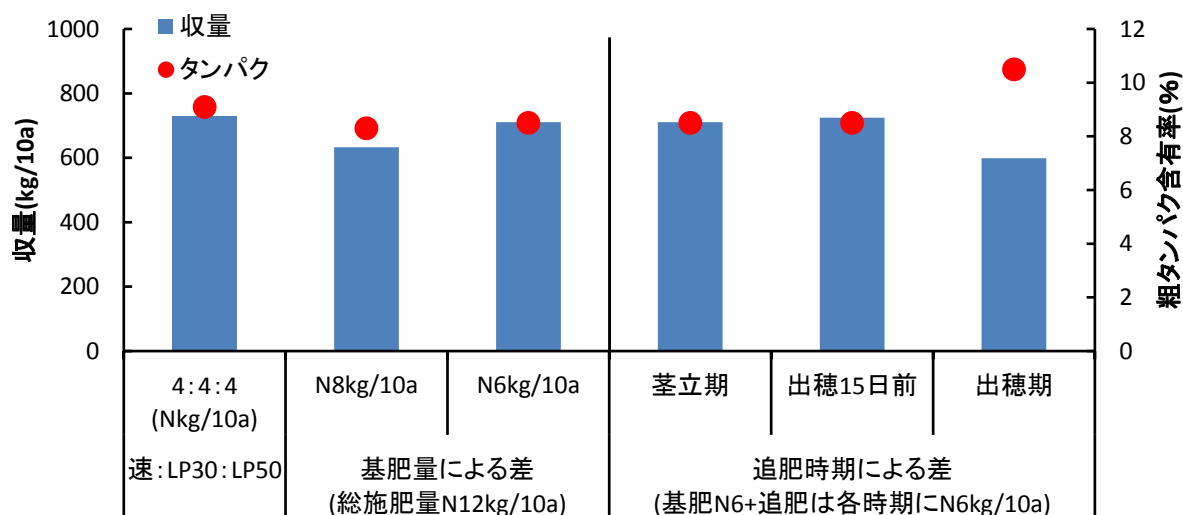
「農林 61 号」(左)と
「さとのそら」(右)



播種期と収量
(2011～2013 年の平均値)



播種量と収量
(2011～2013 年の平均値)



追肥体系と基肥一発施肥による収量及びタンパク含有率

1) 播種期: 11 月 13 日, 2) 収量は 2.2mm 篩選後の重量(水分 12.5%換算), 3) 粗タンパク質含有率は近赤外分析計による測定(水分 13.5%換算)